

軽量高さ調整作業台

奥行き 450 [TKK8]

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げ下さいましてありがとうございます。

この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)と組立てについて記載しています。組立て・ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。

また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存して下さい。

尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡下さい。



サカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室  0120-575101

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

- 天板の等分布耐荷重(天板全面に均等に物を置いた場合)は、
100kg
中板・底板の等分布耐荷重(中板・底板全面に均等に物を置いた場合)は、
50kg
積載荷重は、天板の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りすると製品破損の恐れがあります。
- 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
- 使用中にボルトやネジのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直して下さい。ゆるんだままで使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
- 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたままで使用しないで下さい。
- 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
- 作業台を引きずって移動しないで下さい。床を傷つけたり、アジャスター破損の原因となります。
また、本体と床面等にガタツキがあるときは、アジャスターで水平に調整して下さい。
- この製品を移動するときは、載せてある物を全ておろし、天板を持ち複数でゆっくり持ち上げて行って下さい。乱雑に扱うと破損や事故の原因となります。
- この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

- この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障や表面材の損傷の原因となりますので使用しないで下さい。
- 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品を水に濡れたままにしておきますと表面材の損傷の原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
- ポリエステル化粧板は比較的衝撃にもろい性質がありますので、衝撃を加えますと損傷の原因となります。
- 消耗部品には寿命があります。可動部などに、異常音等(損耗現象)が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
- アジャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。

- 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
- 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

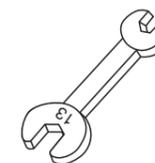
汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

- 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
- 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
- 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

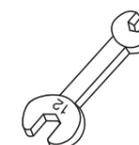
※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

〈組立てに必要な工具〉

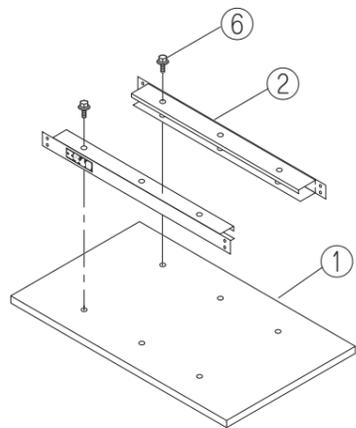


1. 13mmスパナ
(M8ボルト用)

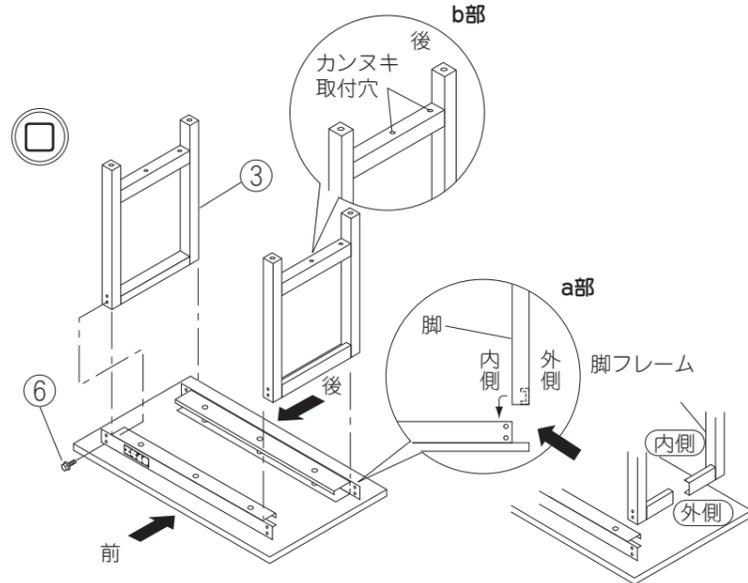


2. 12mmスパナ
(M8フランジナット用)

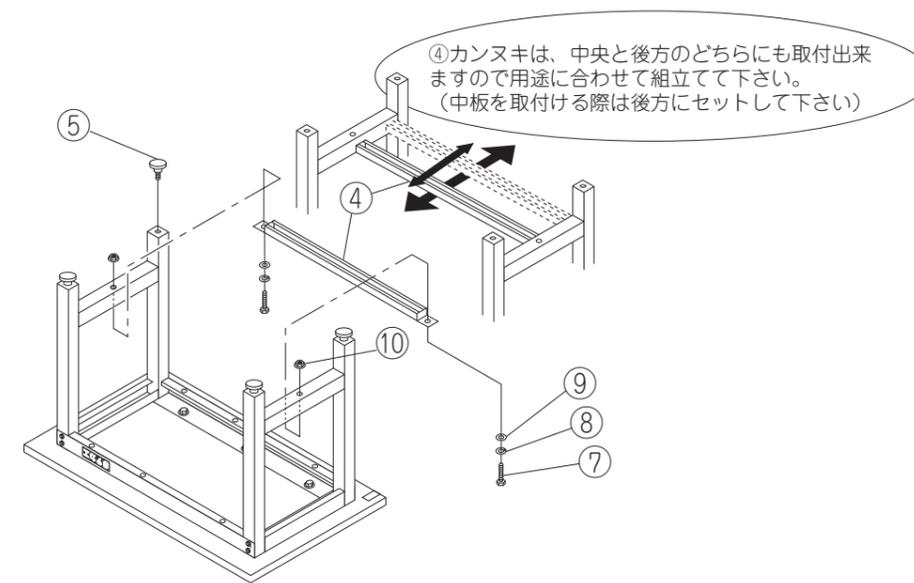
●組立て方法《全タイプ共通》



① 裏返した天板①の上に天受ビーム②を前後に置き、六角アプセットセムス⑥で仮止めして下さい。
(W750,900,1200では⑥は4個、W1500,1800タイプは6個使用します。)

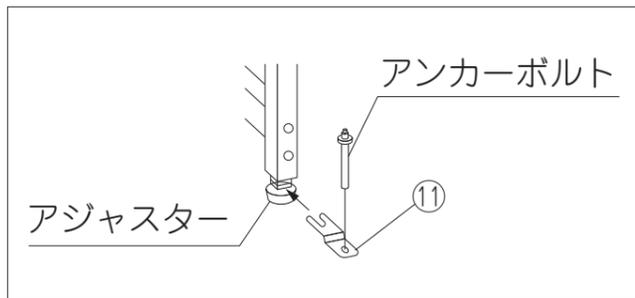


② 脚フレーム③を逆さにし、図②の様に天受ビーム②の両端に差し込み、外側より六角アプセットセムス⑥8個で仮止めして下さい。
(脚フレームの向きに注意して下さい。a部の脚フレームの向きと、b部のカンヌキ取付穴の方向に合わせて取付けて下さい。向きを間違えますとカンヌキ④が取付けられなくなります。)



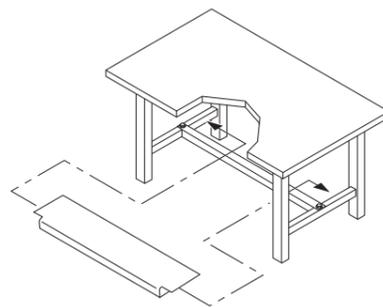
③ カンヌキ④を脚フレーム③に下から差し込み、六角ボルト⑦、スプリングワッシャ⑧平ワッシャ⑨セリート付フランジナット⑩で締め付けて下さい。その後、全てのボルト・ナットを外れない様に本締めして下さい。さらに、脚フレーム③の先端部にアジャスタ⑤をねじ込んで下さい。

本体を起したら耐震金具をアジャスターに差し込み、ナットで締めて固定して下さい
※アンカーボルトは別売りです



●オプション部材取付方法

●中板



組み立て方法①でカンヌキ④は奥にセットして下さい。本体を起こします。そして中板をはめ込んで下さい。

●部品明細

番号	品名	数量
①	天板	1
②	天受ビーム	2
③	脚フレーム(スライド脚組付済)	2
④	カンヌキ	1
⑤	アジャスター	4
⑥	六角アプセットセムス(P-3)	※M8×18ℓ 14
⑦	六角ボルト	M8×65ℓ 2
⑧	スプリングワッシャ	M8用 2
⑨	平ワッシャ	M8用 2
⑩	セリート付フランジナット	M8 2
⑪	耐震固定金具	4

※W750,900,1200の場合は2個余ります。

《高さ調整タイプについて》

脚フレームに取付けてありますスライド脚には目盛りが刻印されています。0(最小)の所に合わせますとH800となります。200(最大)の所に合わせますとH1000となります。目盛りが0~200の間で任意の高さに合わせてご使用になれます。

《調整方法》

まず脚フレームとスライド脚を固定している六角ボルトを軽くゆるめます。(ボルトは絶対にはずさないで下さい。故障の原因となります。)スライド脚が動くようになりますので任意の高さに調整します。終わりましたら手でボルトを締め、仮止めします。全ての脚の調整が終わりましたら、スパナ等でしっかりと固定して下さい。(ゆるく締めますと荷重等でスライド脚が縮む恐れがあり大変危険です。)

